

OrCam Read ユーザーマニュアル

日本語版

 ORCAM | orcam.com |   

© 2024 OrCam Technologies Ltd. All Rights Reserved.

OrCam® は、OrCam Technologies Ltd. (以下、オーカム社) の商標およびブランド名であり、オーカム社は本書および/またはオーカムマイアイに関連して作成されたその他の文書におけるあらゆる権利およびすべての知的財産権を保有しています。当該文書は、著作権、特許権、デザイン特許、商標権、ノウハウ、企業秘密、国際条約を含みこれに限定されない適切な知的財産権で守られています。本書の利用者に譲渡されるライセンスおよび権利はありません。また本書は、オーカム社の唯一かつ排他的な財産であるものとします。本書のいかなる部分も、オーカム社から書面による許可を得ることなく、販売、再販、配布、再生、ライセンス、レンタル、リースを含む (それに限定されない) いかなる商業的目的においても、使用、複製、翻訳、変換、変更、適合、表示、検索システムへの保存、伝達、などのいかなる行為も認められません。

オーカムの特許権のリストは

<https://www.orcam.com/en/patents/> をご参照ください。

オーカム社は、「現状のまま」提供する本書の内容の正確性または完全性の保証について、明示的または黙示的な表現または保証を行いません。また、この文書または本書に関連して提供される可能性のある製品に対して表示されるエラーまたは誤りについて、一切の責任または法的責任を負いません。

オーカムのデバイスは、視力障害のある人の日常生活を改善することを目指して開発されたものです。それは彼らが勉強し、仕事をし、人と交流し、自分の身の回りにある世界を移動して体験することを支援します。オーカムのデバイスは、彼らがアクセシビリティの拡大や独立性を高めることで力を与え、それによって生活の質を改善します。しかし既存の支援の方法あるいは形式の代わりになるものではありませんので、生命または健康が危険にさらされている状況や、金銭的な損失に結びつく可能性のある状況では、信頼するべきではありません。オーカム機器は、特に車や自転車の運転中、または重機の操作中など危険を伴う場合には絶対に使用しないでください。その他の安全情報はオーカムのウェブサイト www.orcam.com/safety をご参照ください。

オーカムサポートへの連絡は電子メール support.email@orcam.com からお願いします。

オンラインのユーザーマニュアルおよびチュートリアルビデオ、またはその他のヒント、アドバイス、トラブルシューティングのサポートなどについては、www.orcam.com/read-user-area をご参照ください。

本社 OrCam Technologies 3 Kiryat HaMada St. Jerusalem 9777513 Israel
+972.2.591.7800

OrCam リード、ソフトウェアバージョン 9.10-EN、2021 年 8 月

目次

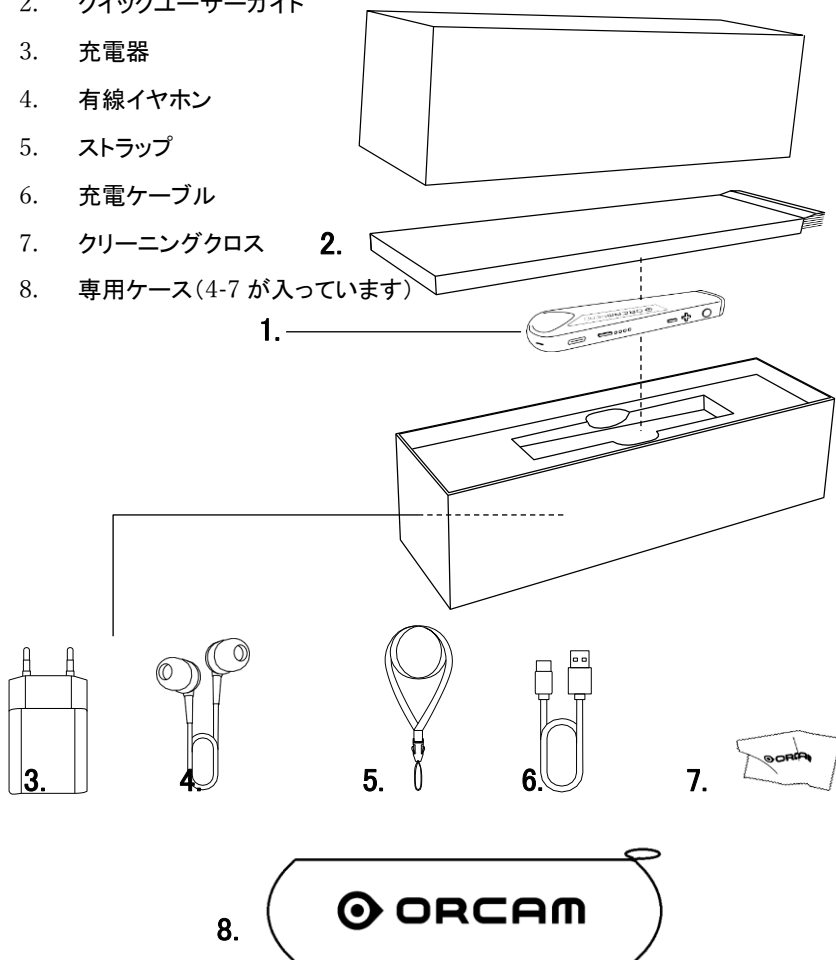
箱の中身.....	7
はじめに.....	8
安全性と注意事項.....	8
クリーニング.....	11
パーツとボタン.....	12
電源ボタン.....	12
トリガーボタン.....	12
ボリュームボタン.....	12
電源オン/オフ LED インジケータ.....	12
始めよう.....	14
オーカムリードの充電.....	14
充電とバッテリー残量に関する注意事項.....	14
オーカムリードの電源を入れる.....	16
ボタン操作の例.....	17
トリガーボタンを押す.....	17
いずれかのボリュームボタンを押す.....	17
トリガーボタンを素早く二度押す.....	17
両方のボリュームボタンを押す.....	17
操作に慣れよう.....	18
サスペンド(保留)モードと電源オフ.....	18
電源をオフにする.....	18
自動サスペンドと電源オフ.....	19
ボリュームの設定.....	19

音声コマンド.....	20
Hey OrCam(ヘイ オーカム)	20
音声コマンド一覧	21
使用方法.....	23
オーカムリードを使ったテキスト読み上げ	23
スマートリーディング機能	25
スマートリーディング用コマンド一覧	26
撮影のアドバイス	27
カスタマイズと各種接続	28
時刻と日付の設定と表示	28
Wi-Fi 接続とソフトウェアアップデート	28
Wi-Fi 接続方法:	29
Bluetooth 接続.....	30
設定	31
設定メニュー	31
設定メニュー項目	32
読み上げ速度	32
ボリューム.....	32
読み上げ設定メニュー	32
言語設定メニュー	33
国・地域設定メニュー	33
バーコード紙幣の認識設定メニュー	33
接続設定メニュー	34
一般設定メニュー	34
セットアップメニューを終了する.....	37

問い合わせ先.....	38
利用規約.....	39

箱の中身

1. オーカムリード本体
2. クイックユーザーガイド
3. 充電器
4. 有線イヤホン
5. ストラップ
6. 充電ケーブル
7. クリーニングクロス
8. 専用ケース(4-7が入っています)



はじめに

はじめに

このたびは、OrCam Read(オーカムリード)をお買い上げいただき、ありがとうございます。

オーカムリードは視覚障害者の自立を支援するための支援機器です。
本機を安全で適切にご使用いただくため、使用前に本マニュアルをお読みください。

安全性と注意事項

オーカムリードを使用する前に、危険な状況を回避し、デバイスの理想的なパフォーマンスを確保するため、以下の注意事項をよくお読みください。

- ・ 本体の取り扱いには注意してください。落としたり、燃やしたり、穴を開けたり、押しつぶしたりすると破損することがあります。デバイスを分解しないでください。
- ・ 本体の外装に亀裂やへこみなどの物理的損傷がないことを確認してください。本体外装は分解しないでください。
- ・ 本体のカメラレンズにひび割れ、破損、傷がないことを確認してください。
- ・ カメラレンズが覆われていたり、汚れていないことを確認してください。本体の正しいクリーニング方法については、下記のクリーニング方法をお読みください。
- ・ 充電には付属の充電器のみを使用してください。他の充電器を使用すると、保証が無効になるだけでなく、重大な人身事故や本体の破

損の原因となることがあります。

- ・ 壁掛け充電器と充電ケーブルに損傷や破損がないことを確認してください。
- ・ バッテリーを交換しようとししないでください。バッテリーを損傷し、過熱して怪我をする恐れがあります。バッテリーの寿命は、平均的な使用で2年間(1日平均1回の充電サイクル)です。
- ・ 本体は、32°Fから104°F (0°Cから40°C)の周囲温度と通常の条件(相対湿度10%から90%RH、気圧2000m上空)で作動するように設計されています。
- ・ 海拔(700hPa))。この範囲外で使用すると、デバイスが損傷することがあります。涼しく乾燥した場所(32°Fから104°F (0°Cから40°C)、相対湿度5%から90%、大気圧700hPaから1060hPa)に保管してください。)本体がオーバーヒートした場合、本体は電源オフ手順を実行します。
- ・ 本体に耐水性能はありますが、完全防水ではありません。短時間の小雨や霧雨には耐えられますが、推奨はされません。大雨の中、ビーチ、プールの近く、浴槽やシャワーの近くでは使用しないでください。本体を液体に沈めないでください。本体はIPコードの基準を満たしています:IP22.
- ・ 充電端子を無理にUSBポートに差し込んだり、ボタンに過度な圧力をかけたりしないでください。保証対象外の破損の原因となります。充電端子が簡単に挿入できない場合は、USBポートに障害物がないか確認し、また、正しい充電端子を挿入しようとしているか確認してください。オーカム社が販売していないソフトウェア、ハードウェア、その他の機器と組み合わせないでください。本体を磁場にさら

すと、本体が破損したり、データが消去されることがあります。

- ・ 本体の使用中やバッテリーの充電中、本体が熱を持つのは正常なことです。本体が過度に熱くなったり、液漏れを起こしたり、焦げ臭いにおいがする場合は、すぐに電源を切り、オーカム社サポートまでご連絡ください。
- ・ 本体の操作に問題が生じた場合、またはカメラレンズや外箱、充電器などのデバイスやその構成部品が破損したり、動作しなくなった場合は、オーカム社サポートにご連絡ください。オーカム社の有資格者のみがデバイスの修理やサービスを行うことができます。無許可の修理は保証を無効にする場合があります。
- ・ 本体の音をより聞き取りやすくするために、騒音がうるさい場所から離れることをお勧めします。大音量の環境下で使用する場合は、イヤホンなどの Bluetooth オーディオデバイスを使用することをお勧めします。
- ・ 体内ペースメーカーや除細動器、人工内耳との併用について具体的な質問がある場合は、医療専門家にご相談ください。
- ・ 本体のいずれかの要素に対してアレルギー反応を起こした場合は、直ちに医療専門家に連絡してください。
- ・ 本体を使って薬のラベルを読まないでください。
- ・ オーカムリードは、米国および EU のクラス 1 医療機器の標準要件を満たしています。

Max output of laser radiation : 0.371 mW
Emitted wavelength : 635 nm
Name of the standard : IEC 60825-1



クリーニング

- ・ 本体が汚れたり、複数のユーザー間で使用した場合は、クリーニングしてください。
- ・ 2 週間に一度は本体、特にカメラレンズをクリーニングすることをお勧めします。
- ・ カメラレンズは絶対に指で触らないでください。
- ・ レンズは付属のマイクロファイバークロスと眼鏡用の洗浄液のみで洗浄してください。
- ・ 本体を損傷する恐れがありますので、研磨剤は使用しないでください。
- ・ 家庭用クリーナー、エアゾールスプレー、溶剤、アルコール、アンモニアなどの化学薬品を使用しないでください。

パーツとボタン

電源ボタン

電源ボタンは、各種ボタンが並ぶ細長い側面にある、充電ポート付近の細長い楕円形のボタンです。電源を入れるだけでなく、設定メニューに入る際にも使用します。

トリガーボタン

トリガーボタンは、各種ボタンが並ぶ細長い側面にある、カメラに一番近い丸いボタンです。ほとんどの機能はトリガーボタンで実行できます。

ボリュームボタン

ボリュームボタンは、各種ボタンが並んだ側面のプラス(+)とマイナス(-)の記号の形状をしたボタンです。トリガーボタンの近くにあります。音量の変更や、設定メニュー内の移動などに使用します。

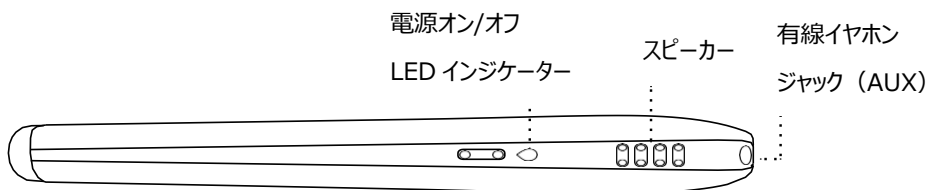
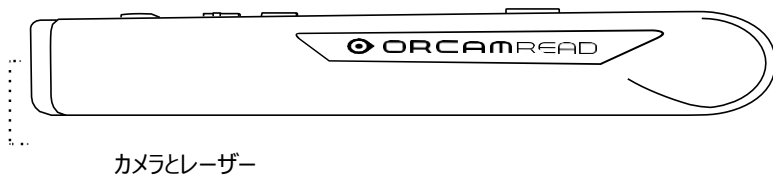
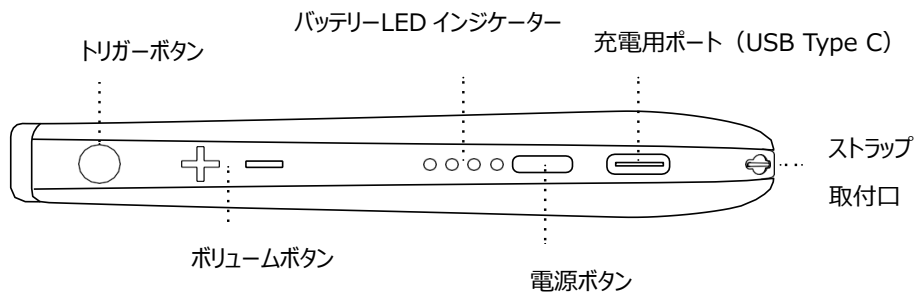
バッテリーLED インジケーター

電源ボタンの横に4つのLEDライトがあります。LEDライト1つにつき、バッテリー残量25%分を示しています。

電源オン/オフ LED インジケーター

電源オン/オフ LED インジケーターは、オーカムのロゴをかたどった小さなライトで、ボタンのない細長い側面のスピーカーの近くにあります。

オン/オフ LED インジケータは、本体が電源オフの状態からオンになると、起動中はオレンジ色に点灯し、完全に起動すると青色に点灯します。



始めよう

オーカムリードの充電

本体の電源を初めて入れる前に、最低 3 時間デバイスを充電することを
お勧めします。通常時は、90～120 分で完全に充電されます。

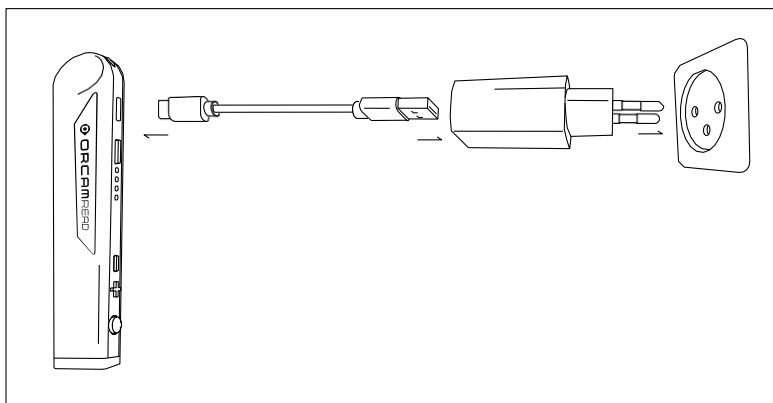
充電方法：

1. 充電ケーブルの USB-C 端子を本体の充電ポートに挿入します。
2. 充電ケーブルの USB-A 端子を充電器に挿入します。
3. 充電器をコンセントに差します。

充電とバッテリー残量に関する注意事項

- ・ 充電には、付属のオーカム純正充電器のみの使用を推奨します。
- ・ オーカム純正充電器は 100-240 V、50/60 Hz に対応しています。
- ・ 本体を頻繁に使用しない場合でも、少なくとも月に一度は本体を充電することをお勧めします。
- ・ 電源オフ時、起動中、サスペンド(保留)モード、いずれの状態でも充電できます。
- ・ サスペンドモードまたは電源オフ時に充電した場合、本体が自動的に起動します。通知音が鳴り、充電中であることを知らせてくれます。電源オフ時には、ピープ音が鳴り、オン/オフ LED インジケーターが数秒間オレンジ色に点灯し、完全に起動すると青色に変わります。
- ・ 本体のバッテリーレベルが低すぎる場合、本体は「警告、バッテリー

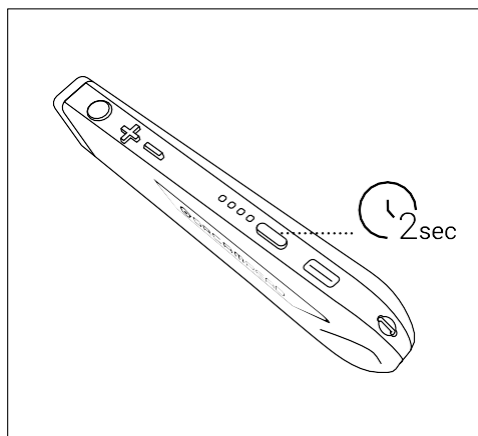
の残量が少なくなっています。現在 [xx] パーセント充電しました。」とアナウンスします。本体のバッテリーレベルが 1 パーセントに達すると、「バッテリー残量が低すぎます」とアナウンスされ、自動的に電源が切れます。



オーカムリードの電源を入れる

1. 電源ボタンを約 2 秒間長押しします。ビープ音が鳴ったら電源ボタンを離します。
2. 電源オン/オフ LED インジケーターは、起動中にオレンジ色に点灯し、完全に起動すると青色に点灯します。

⇒約 1 分後、チャイムが鳴り、"オーカムバージョン[xx] の準備完了 "バッテリーが[xx]%充電されました"。と読み上げます。

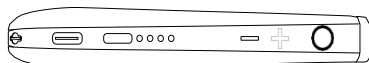


注意:"オーカムバージョン [xx] の準備完了"というアナウンスが聞こえなかった場合、または本体の電源が入っているかどうか分からない場合は、トリガーボタンを押してください。本体の電源が入っていれば、音声応答が聞こえます。

ボタン操作の例

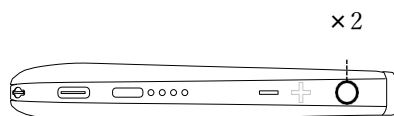
トリガーボタンを押す

- ・撮影したテキストの読み上げ
- ・読み上げの停止
- ・サスペンドモードからの起動
- ・設定メニューでの選択
など



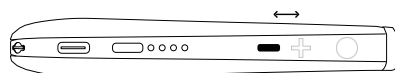
トリガーボタンを素早く二度押す

- ・読み上げの一時停止または再開
- ・音声コマンドモードの開始
- ・設定メニューの終了
など



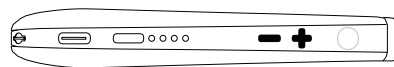
いずれかのボリュームボタンを押す

- ・音量を上げる/下げる
- ・読み上げの巻き戻し/早送り
- ・設定メニュー内の移動



両方のボリュームボタンを押す

- ・レーザーポインターモードの切り替え



操作に慣れよう

サスペンド(保留)モードと電源オフ

サスペンドモードに入る

本体の電源が入っているときにサスペンドモード(保留状態)に入ると、本体の電源を完全に切らずに、バッテリーの消費を抑えられます。

1. 電源ボタンを 1 回押します。
2. ビープ音が鳴り、「サスペンド中です。もう一度押すと電源が切れます。」と読み上げます。
3. このときに電源ボタンを再度押さないでください。
4. 数秒後、本体はサスペンド・モードに入るので、「保留になっています」と読み上げます。

サスペンドモードを終了する

1. 電源ボタンかトリガーボタンを 1 回押します。
2. ビープ音が鳴り、「ウェイクアップ中。バッテリーが [xx] パーセント充電されました。」と読み上げます。

電源をオフにする

1. 電源ボタンを 1 回押します。ビープ音が鳴り、「サスペンド中です。もう一度押すと電源が切れます。」と読み上げます。
2. 電源ボタンをもう一度押してください。ビープ音が鳴り、「電源が切れています。お待ちください」と読み上げます。
3. 電源が切れる直前に、「電源オフ。さようなら」と読み上げます。

自動サスペンドと電源オフ

- ・ 本体は、3 分間無操作の状態が続くと自動的にサスペンドモードに入ります。サスペンドモードに入るまでの時間は、設定メニューより変更可能です。
- ・ 本体は、サスペンドモードで 3 時間経過すると電源が切れます。

注: 設定された「自動保留時間」の間、無操作状態にしておくと、小さなビープ音が鳴り、「サスペンド中」とは読み上げずにサスペンドモードが自動的に始まります。電源ボタンまたはトリガーボタンを押すと、「ウェイクアップ中」とは読み上げずに、) 小さなビープ音とともに起動します。

ボリュームの設定

- ・ プラス(「+」)ボリュームボタンを 1 回押すと、音量が 1 段階上がります。
- ・ マイナス(「-」)ボタンを 1 回押すと、音量が 1 段階下がります。

ボリュームの変更時、また、音量が最小/最大に達した際に通知を読み上げます。

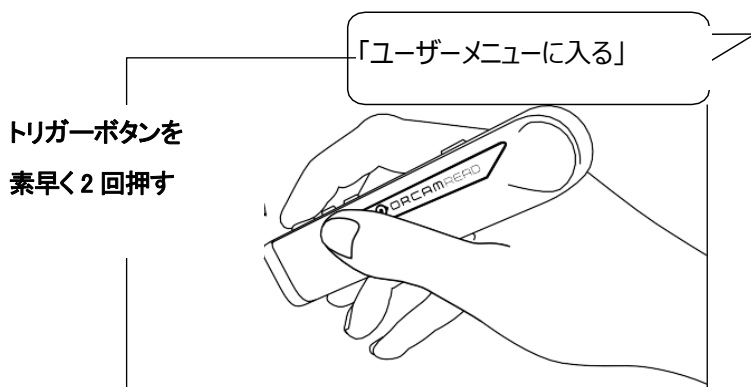
注: 読み上げ中は、音量を変更することはできません。読み上げ中にいずれかの音量ボタンを押すと、次の文か前の文を読み上げます。

音声コマンド

音声コマンドは、本体の操作、設定の変更、
情報を取得する際に簡単に使用できます。

音声コマンドの使用方法：

1. トリガーボタンを素早く2回押します。
2. 長いビープ音が聞こえたら、特定の音声コマンドを発声します。
3. 音声コマンドが認識されるとチャイムが鳴り、コマンドを実行します。



Hey OrCam(ヘイ オーカム)

音声コマンドを使用するには、前述のトリガーボタン2回押しに加え、
"Hey OrCam(ヘイ オーカム)"と発声し、その後に音声コマンドを続ける
こともできます。"Hey OrCam(ヘイ オーカム)"と発生すると、ビープ音
が鳴るので、例えば、"Hey OrCam(ビープ音)ユーザーメニューに入る"と
いった具合に音声コマンドを使用可能です。この機能はデフォルトでは無
効になっています。設定メニューで有効にすることができます。

音声コマンド一覧

カテゴリー	コマンド	コマンド概要 用途
ヘルプコマンド	ヘルプコマンドをリストにする	コマンドグループについて説明します。
	情報コマンドをリストにする	情報コマンドグループのコマンドリストを確認できます。
	設定コマンドをリストにする	設定コマンドグループのコマンドリストを確認できます。
	スマート読み上げコマンドをリストにする	スマート読み上げコマンドグループのコマンドリストを確認できます。
情報コマンド	時刻を通知	時刻を確認できます。
	日付を通知	日付を確認できます。
	バージョン情報を通知	ソフトウェアのバージョンを確認できます。
	バッテリー残量を通知	バッテリー残量と、本体が充電中かどうかを確認できます。
	デバイスのシリアル番号を通知	本体のシリアル番号を確認できます。
設定コマンド	ボリュームを上げる	音量を1段階上げます。
	ボリュームを下げる	音量を1段階下げます。

設定 コマンド	読み上げ速度を上げる	読み上げ速度を1段階上げます。
	読み上げ速度を下げる	読み上げ速度を1段階下げます。
	ユーザーメニューに入る	設定(ユーザー)メニューに入ります。
	音声を変更する	言語ごとにシステム及び読み上げ音声 (男性・女性)を切り替えます。
	自動保留時間の変更	保留状態になるまでの自動保留時間を 設定します。
	Bluetooth オーディオデバイス に接続	Bluetooth オーディオ機器への接続設定 を開始します。
	インターネット接続状況を確認	Wi-Fi の接続状況を確認できます。
	読み上げナビゲーションを有効 にする	読み上げ時の一時停止・再開・早送り・ 巻き戻しが有効になります。
	読み上げナビゲーションを無効 にする	読み上げ時の一時停止・再開・早送り・ 巻き戻しが無効になります。
	レーザーの形状を変更する	レーザーの形状を長方形または矢印に 変更します。

使用方法

オーカムリードを使ったテキスト読み上げ

トリガーボタンを使用して読み上げ

1. 本体をしっかりと手に持ち、テキストに対してカメラを向け約 15～35cm 程度離します。
2. トリガーボタンを押します。(カメラのシャッター音が鳴り、撮影を行います)
3. テキスト認識が始まり数回ピープ音が鳴ります。

⇒ 認識したテキストを読み始めます(読み終わるとチャイムが鳴ります)

※トリガーボタンを押している間は、ボーダーフレームまたはマウスポインターのレーザーが表示され続けるので、認識させたいテキストを狙って撮影することができます。

読み上げナビゲーション(読み上げ時の操作方法)

- ・ 読み上げを一時停止または再開: トリガーボタンを 2 回押す
- ・ 次の文に進む: ボリュームボタン プラス(「+」)を 1 回押す
- ・ 前の文章に戻る: ボリュームボタン マイナス(「-」)を 1 回押す
- ・ 読み上げを停止: トリガーボタンを 1 回押す

注: 読み終わるとチャイムが鳴ります。

スマートリーディング時は、読み上げナビゲーションは動作しません。

レーザーポインターの切り替え

2 種類のレーザーポインターモードがあります。

長方形レーザーモード

枠内のテキストを読み取ります。



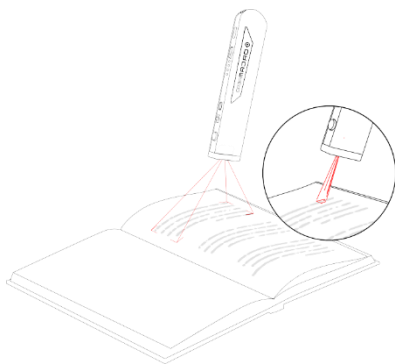
矢印レーザーモード

特定の位置から読み取ります。



レーザーポインターモード切替:

ボリュームボタン プラス(+) マイナス(-) 同時押し



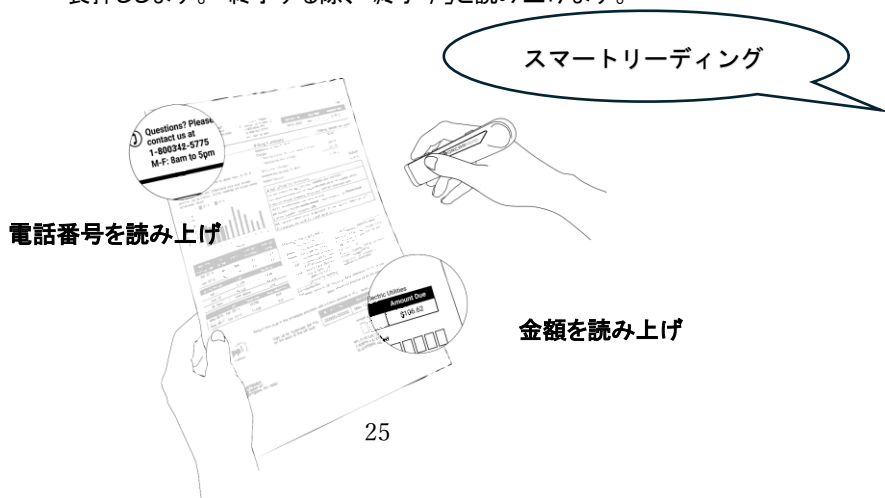
スマートリーディング機能

この機能は、認識したテキストの中から特定の情報を探しやすくする機能です。

例：請求書の期日と金額、メニュー表のデザートの記載、名刺上の電話番号など

本体をしっかりと手に持ち、テキストに対してカメラを向け約 15～35cm 程度離します。

1. トリガーボタンを 2 回押し、長いビープ音の後に「スマートリーディング」と言います。(カメラのシャッター音が鳴り撮影します)
2. 本体が「準備完了」と読み上げたら、音声コマンドのスタンバイ状態になります。※都度トリガーボタンを二度押しする必要はありません。
3. スマートリーディングの音声コマンドを指示します。
4. 本体の読み取り中に新しいコマンドを指示したい場合は、トリガーボタンを 1 回押すと、本体は「常時リスニング」モードに戻ります。
5. この機能を終了するには、「終了」と言うか、トリガーボタンを 5 秒間長押しします。終了する際、「終了中」と読み上げます。



スマートリーディング用コマンド一覧

コマンド	指示の用途
スマートリーディング	スマートリーディング機能を開始します。
すべて読み上げ	認識したテキストを全て読み上げます。
～を探す	指定した単語を含む文節を読み上げます。
～から開始する	指定した単語から始まる文節を読み上げます。
日付を読み上げ	認識したテキスト内の日付を読み上げます。
電話番号を読み上げ	認識したテキスト内の電話番号を読み上げます。
金額を読み上げ	認識したテキスト内の金額を読み上げます。
戻る	1つ前に読み上げた文節を読み上げます。
次へ	次に読もうとしている文節を読み上げます。
繰り返す	直前に読み上げた文節を読み上げます。
終了	スマートリーディングを終了します。
再開	再度撮影を行います。
ボリュームを上げる/大きい声で話す	認識したテキスト内のボリュームを上げます。(10段階)
ボリュームを下げる/小さい声で話す	認識したテキスト内のボリュームを下げます。(10段階)
読み上げ速度を上げる/もっと早く読む	読み上げ速度を1段階上げます。(10段階)
読み上げ速度を下げる/もっとゆっくり読む	読み上げ速度を1段階下げます。(10段階)

撮影のアドバイス

- ・ カメラをテキストまたは対象物にまっすぐ向け、すべてのボタンが上を向くように持ち、レンズが覆われていたり、汚れていたりしないか確認して下さい。
- ・ 撮影中に、対象のテキストや物を動かさないように注意してください。
- ・ 歩きながら、動きながらの撮影は避けてください。
- ・ テキストが逆さまの場合や、撮影場所が暗すぎる場合は、本体からアナウンスが流れます。
- ・ 機能を実行しようとしたときに、短いチャイム音が鳴った場合は、機能を実行できなかったことを意味します。
- ・ テキストを安定させるのが難しい場合は、ブックスタンドなどの使用をお勧めします。



カスタマイズと各種接続

時刻と日付の設定と表示

本体の内部時計を設定するには 2 つの方法があります：

1. 設定メニューから手動設定
2. 本体を Wi-Fi に接続 ⇒ Wi-Fi に接続すると、時刻が自動的に更新されます。

※現在の時刻と日付を確認するには、設定メニュー＞一般設定メニュー＞時刻設定を選択するか、音声コマンドで時刻を通知、または、日付を通知を指示してください。

Wi-Fi 接続とソフトウェアアップデート

オーカムリードは Wi-Fi 経由で自動的にソフトウェアをアップデートすることができます。本体を Wi-Fi ネットワークに接続すれば、自動的に最新のソフトウェアアップデートをインストールします。

アップデートのダウンロード中は、本体を充電器に接続しておく必要があります。

ソフトウェアの自動アップデートを有効にするには、アクセス可能な Wi-Fi ネットワークがある場所にいることを確認してください。このプロセスを開始する前に、Wi-Fi ネットワーク名とパスワードを確認し、デバイスを充電器に接続してください。オーカムリードは 2.4GHz Wi-Fi のみ対応しており、5GHz Wi-Fi には対応しておりませんのでご注意ください。

Wi-Fi 接続方法:

1. パソコン・スマートフォンから
 - a. <https://www.orcam.com/ja-jp/Wi-Fiset> にアクセスします。
 - b. 画面の指示に従って Wi-Fi ネットワーク名とパスワードを入力します。
 - c. 画面に QR コードが表示されます。
2. オーカムリードで読み取り
 - a. 本体を充電器に接続します。
 - b. QR コードが表示されたパソコンまたはスマートフォンの画面に本体のカメラを向けます。
 - c. パソコンの場合は 30-40cm、スマートフォンの場合は 15-20cm ほど離してください。トリガーボタンを押します。

QR コードをスキャンして Wi-Fi ネットワークに接続すると、チャイムが鳴り、ピープ音が数回鳴ります。接続完了時にアナウンスします。

一度 Wi-Fi ネットワークに接続すると、オーカムリードは Wi-Fi ネットワークエリア内で充電器に接続する度にソフトウェアのアップデートをチェックし、利用可能な最新のアップデートを自動的にインストールします。

Bluetooth 接続

Bluetooth を使用し、オーカムリードを外部スピーカーやイヤホンに接続できます。

1. スピーカーまたはイヤホンをペアリング可能な状態にします。
2. 本体から選択する:
設定メニュー>接続設定メニュー>Bluetooth 設定メニューに入り、トリガーボタンを押します。
3. オーカムリードは、使用可能なすべての Bluetooth デバイスをリストアップします。
4. 音量ボタンを押して Bluetooth デバイスリストと内を移動し、トリガーボタンを押して、接続するスピーカーまたはイヤホンを選択します。

一部の Bluetooth スピーカーやイヤホンでは、「接続しました」というアナウンスが聞こえます。

設定

設定メニューでは本体の設定を変更できます。

設定メニュー

- ・ 設定メニューに入るには、音声コマンド「ユーザーメニューに入る」を使用するか、電源ボタンを長押ししながら、どちらかの音量ボタンを押し、電源ボタンを離してください。
- ・ 設定メニューに入ると、各操作について音声案内が流れます。音声案内に従って操作してください。
- ・ 設定メニュー内の操作
オプション項目の決定:トリガーボタンを 1 回押す
オプションの項目移動:いずれかのボリュームボタンを押す
メインメニューに戻る:各設定内でトリガーボタンを 2 回押す
設定メニューの終了:メインメニューでトリガーボタンを 2 回押す
- ・ 選択しない場合、デバイスは同じメッセージを繰り返します。無操作で 30 秒が経過すると、デバイスは自動的にオーディオ設定メニューを終了します。



設定メニュー項目

読み上げ速度

読み上げ速度を 10 段階で設定可能です。1 が最も遅く、10 が最も速くなります。

ボリューム

ボリュームを 10 段階で設定可能です。1 が最も遅く、10 が最も速くなります。

ボリュームを変更した際、最小・最大に達した際に音声で案内します。

読み上げ設定メニュー

日付形式を設定

日付の形式を "月日年"、"日月年"、"年月日"のいずれかに設定できます。

読み上げナビゲーションを有効または無効にする

読み上げナビゲーションを有効にすると、読み上げ中の早送り・巻き戻し・一時停止の操作が可能になります。

読み上げ中の一時停止のビープ音を有効または無効にする

読み上げ中に一時停止した際に流れるビープ音を有効または無効にできます。

読み上げナビゲーションの一時停止時間を設定

読み上げナビゲーションで一時停止した際に、自動的に再開するまでの時間を設定します。

30 秒から 5 分の間で設定できます。

言語設定メニュー

システム言語を設定する

本体のシステム言語を設定します。インストール済の言語の中から選択可能です。

読み上げ言語を設定する

テキストを読み上げる際の言語を設定します。インストール済の言語の中から選択可能です。

国・地域設定メニュー

デバイスの国・地域を設定する

国・地域を設定すると、タイムゾーンや時間、周波数などの設定が更新され、お使いの国・地域での最適な動作をします。

設定を変更し、設定メニューを終了すると、デバイスが再起動します。

注: 国を変更しても、読み上げ言語やシステム言語などの設定は変更されません。

バーコード紙幣の認識設定メニュー

バーコード設定を変更する

バーコード認識の設定を手動で変更するか、無効にするか選択できます。

紙幣認識設定を変更する

紙幣認識の設定を手動で設定するか、無効にするか選択できます。

紙幣の通貨設定を変更する

各通貨の認識を有効にするか無効にするか設定できます。

接続設定メニュー

Bluetooth 設定メニュー

Bluetooth オーディオデバイスに接続する

Bluetooth オーディオ機器に接続します。

接続済みの Bluetooth オーディオデバイス名を取得する

接続済みの Bluetooth オーディオ機器の名前を取得します。

Bluetooth オーディオデバイスを切断する

Bluetooth オーディオ機器との接続を解除します。

すべての Bluetooth オーディオデバイスを削除する

接続したことのあるすべての Bluetooth オーディオ機器の接続情報を削除します。

Wi-Fi 設定メニュー

接続されている Wi-Fi ネットワーク名を取得する

接続されている Wi-Fi の名前を取得します。

すべての Wi-Fi ネットワークを削除する

本体に保存された全ての Wi-Fi 接続情報を削除します。

インターネットの接続性を確認する

インターネット接続の状態を確認します。

一般設定メニュー

音声メニュー

各言語の読み上げ音声を変更することができます。

時刻を設定する

タイムゾーン、時、分、年、月、日にちを変更することができます、

自動保留時間を設定する

無操作時に本体がサスペンドモードに入るまでの待機時間を設定します。

2 分から 30 分の間で設定できます。

操作音の設定メニュー

カメラシャッター音メニュー

撮影時のカメラのシャッター音の有効・無効を設定します。

処理中を示す音を有効または無効にする

撮影した写真の解析中に鳴るビープ音の有効・無効を設定します。

自動保留と再開のアナウンスを有効または無効にする

本体がサスペンドモードに入った際と再開する際に流れる音声の有効・無効を設定します。無効にするとビープ音が鳴ります。

すべてのユーザー設定をデフォルトにリセットする

本体の設定を初期化します。

あなたの地域におけるカメラのライトの互換性を変更する

カメラライトの周波数を 50Hz または 60Hz に変更することができます。

ライトの状態通知を有効または無効にする

暗い場所で撮影する際のアナウンスを有効または無効に設定します。

有効にした状態で、暗い場所で撮影すると「ライトのレベルが低すぎます」と読み上げます。

レーザーを有効または無効にする

撮影時のレーザー照射の有効・無効を設定します。

自動フラッシュを有効または無効にする

音声コマンドを自動フラッシュの有効または無効を設定します。有効にすると周囲の明るさに応じて自動でフラッシュが光ります。

音声コマンドを校正する

音声コマンドを手動、全面的、無効に設定します。

手動に設定すると、トリガーボタンを 2 回押した場合のみ音声コマンドを指示できます。

全面的に設定すると、トリガーボタンを 2 回押した場合と、“ヘイオーカム”と発生した場合に音声コマンドを指示できます。

無効にすると、音声コマンドおよびスマートリーディング機能が使用できなくなります。

スタンドモード設定を校正する

スタンドモードを自動、無効、手動に設定します。

自動に設定すると、充電中にカメラが下に向いた場合に自動的にスタンドモードになります。

無効に設定すると本体はスタンドモードが無効になります。

手動に設定すると、音声コマンドで「スタンドモード開始」と指示した場合にスタンドモードになります。終了する場合は、音声コマンドで「スタンドモード終了」と指示してください。

OrCam 連絡先情報を得る

オーカムの WEB サポートの情報を確認できます。

インストールの再試行をリセットする

本体のアップデートに失敗した場合に、この機能を実行すると学習したデータを失うことなく正常にアップデートした状態にします。

デバイスのシリアル ID メニューに入る

このオプションでデバイスのシリアル ID を取得できます。

バージョン情報を得る

本体ソフトウェアの詳細なバージョン情報・使用可能な機能確認できます。

セットアップメニューを終了する

設定メニューを終了します。

問い合わせ先

OrCamRead に関するお問い合わせは以下の有限会社エクストラ技術サポート窓口へご連絡ください。

有限会社エクストラ
技術サポート

電話番号:

054-368-6887

※電話の受付時間は平日 10 時-12 時、13 時-16 時です。

E メール:

tech@extra.co.jp

424-0886

静岡県静岡市清水区草薙一丁目 19-11

URL: <https://www.extra.co.jp/>

利用規約

オーカムデバイス(「製品」)の使用は、オーカム社の利用規約の対象となります。利用規約は orcaml.com/ja/privacy-policy からご覧になれます。

お客様の製品を利用規約への合意が、本機を使用する条件となります。

ユーザーマニュアルは、オーカムデバイスを使用する前に、重要な安全に関する事項を含む全てを読んで理解して下さい。ユーザーは、認定 OrCam TrainerTM またはオーカムトレーニングプログラムによる実地またはオンラインのトレーニングを受ける事無くオーカムデバイスを使用してはいけません。

製品がユーザーマニュアルの手順に従って使用されなかった場合、オーカム社は一切の責任を負いません。また、生命または健康が危険にさらされている状況、または金銭的な損失に結び付く可能性のある状況では製品を使用しないでください。オーカム機器は、特に車や自転車の運転中、または重機の操作中など危険を伴う場合には絶対に使用しないでください。そのような状況で製品を使用した場合、オーカム社は一切の責任を負いません。

オーカムは第三者から情報（例えば、選択した国における食料雑貨製品のバーコード情報）を受け取ることがあります。OrCam はオーストラリアとニュージーランドにおける食料雑貨製品のバーコード情報を GS1 オーストラリアから得ています。オーカムは第三者から取得した情報の正確さについて一切責任を負いません。

プライバシー

オーカム社はユーザーのプライバシーを尊重し、クライアントとユーザーの

個人情報を保護して安全対策を講じるよう心がけています。当社のプライバシーポリシーを [https:// www.orcam.com/ja/privacy-policy](https://www.orcam.com/ja/privacy-policy) でお読みください。これは当社が、クライアントおよびユーザーに関する個人データを、当社、当社のウェブサイト、およびオーカムマイアイのモバイルアプリケーションが追加するサービス（それぞれ「本サービス」および「本アプリ」と称します）との関連で、どのように処理するのかを説明したものです。また、当社が収集し処理する個人データのタイプはどのようなものなのか、どのような目的で当社はユーザーの個人データを使用し処理するのか、ユーザーの個人データはどのように保護されるのか、そしてユーザーの個人データが誰と共有されるのかについても説明しています。

当社はユーザーの個人データを保持しますが、それについての当社のプライバシーポリシーおよびユーザーの権利のことをユーザーが理解できるようにすることが当社にとって重要です。また、ユーザーは、ユーザーが当社のウェブサイト www.orcam.com を訪れた時に、当社はクッキーおよび類似のテクノロジーを使用してその情報を収集している、ということを知っておく必要があります。これは、可能な限り最高の体験をユーザーにお届けするために当社が行っていることです。そうしたテクノロジーの使用に関する詳細は、当社のクッキーポリシーを <https://www.orcam.com/ja/cookies-policy/> でご参照ください。

ユーザーが自分のプライバシーがプライバシー声明によって守られていないと感じる場合、privacy@orcam.com から当社にお知らせください。

ユーザーが、本サービスとの関連で本アプリをダウンロードする、使用する、登録する、あるいは当社にデータを提供することを選択した場合、このプライバシー声明に従ってそうしたデータのを使用することに明確に同意したことになります。以下の諸条件のいずれにも同意できない場合、本サ

ービスを使用したり、あるいは当社にデータを送信したりしないでください。
このプライバシー声明は、いかなる形であれ、当社の利用規約またはオーカム社とユーザーとの間で結ばれたその他の合意書を損なうように解釈されることはないものとします。

保証

本書に明記されていない限り、オーカム社は、本書に明記されていない製品情報、機能、または画像について、お客様への表明や保証を一切行いません。

本 OrCam の エンドユーザー向け限定製品保証(「限定保証」)では、OrCam 製品の所有者に対して、初回購入時、購入後 1 年間、さらに法的に定められた期間の材料または細工の欠陥を保証します。この保証を得るためには所有者は初回の購入/配送の証明を提示する必要があります。オーカム社は、独自の裁量により、製品がこの限定保証の対象となると判断した場合に製品の修理または交換を行います。オーカム社は、意図的な損傷または製品の誤用により生じた故障に対して一切の責任を負いません。所有者は、オーカム社が指定する場所への製品の発送においてその送料を負担するものとします。

この限定保証は、オーカム製品に対する唯一の排他的な保証です。第三者にはオーカム製品に関して、オーカム社に代わって、いかなる表明、保証、または合意を行う権限はありません。ここに記載されている記述以外に、オーカム社が提示するいかなる種類または性質の保証はありません。いかなる場合においても、本製品の使用に関して、特別、付加的、間接的、

偶発的、結果的、または懲罰的な損害に対して、オーカム社は責任を負わないものとします。いかなる場合でも、オーカム社の責任は製品に支払われた代価を超えることはないものとします。

本契約に基づく責任を制限する規定を制限することなく、以下の事象で発生した費用および費用について、本書に記載されている限定保証は適用されないため、所有者が OrCam を保証しなければなりません。

(i) 製品が、オーカム社の提供する文書およびエンドユーザー利用規約またはその他の書面による取扱説明書に準じて使用されていない場合

(ii) 製品が改ざん、誤用、過失、または事故にあった場合

(iii) 製品及び部品の識別ラベルが剥がされていたり、または製品に変更が加えられている場合

(iv) 本製品が、承認されたオーカム社の代理人以外の人物により開けられた、修正、修理、サービス、保守、または改変された場合

(v) 本製品が、オーカム社が提供していない、またはオーカム社の認定した代理が書面で承認していないソフトウェア、ハードウェア、またはその他の機器と併用されている場合

(vi) 製品に意図的な破損がある、または水、熱、または高電圧の影響を受けた場合

(vii) 製品が、認定 OrCam TrainerTM によるトレーニングを修了していない人物によって使用された場合本保証に従って交換された部品は、元の保証期間の残り期間または修理日から 90 日のいずれか長い方で保証の対象となります。

保証のためにデバイスを登録するには、保証登録ウェブサイトを訪れてく

ださい: <https://discover.orcam.com/warranty>。

製品に保証サポートが必要であると思われる場合は、support.email@orcaml.com にお問い合わせください。送料はお客様負担となります。ただし、保証要求が有効であると判断された場合、オーカム社は修理または交換された製品の配送費用の全額を負担します。オーカム社は、明示または黙示を問わず、第三者の権利を侵害しないこと、商品性、特定目的への適合性を黙示の保証を含みこれに限定されない一切の保証を否認します。オーカム社は、製品がエラーまたは「バグ」のないこと、中断する事なく動作すること、製品が生成する画像またはサウンドが正確であること、または製品の動作が安全であることを保証しません。そのため、一切の責任を否認します。このセクションは、適用される法律が許す最大限の範囲で執行されます。

返金ポリシー

購入した販売店にお問合せください

FCC 適合

本機器は、FCC 規制の第 15 部クラス B デジタル機器の制限について検査され、その制限に準拠されている事が確認されています。これらの制限は、居住地区での製品使用における有害干渉から適正に保護することを目的としています。本製品は無線周波エネルギーを生成および使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、(それは機器の電源 をオン/オフ

にすることで確認できます)ユーザーは次のいずれかの対処法により干渉を修正しようとするをお勧めします。

39

- ・ 受信アンテナの向きまたは位置を変える。
- ・ 機器と受信機との距離を離す。
- ・ 機器を受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続する。
- ・ 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。本機器は、FCC 規制の第 15 部に準拠しています。

本機器の動作は、次の二つの条件を満たす必要があります。

- 1.** 本機は、有害な干渉を発生させない。
- 2.** 本機は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、受信したいかなる干渉にも耐えうるものでなければならない。

廃電気・電子製品に関する欧州連合の指令を遵守適切な廃棄については、オーカム社にお問い合わせください。

特定有害物質使用制限指令準拠(材料および構成部品)

FCC ID: 2AAWI-READ

IEC 60536 に従った Class II 機器

英国責任者:

MEDES LIMITED

5 Beaumont Gate, Shenley Hill, Radlett, Hertfordshire, London WD7
7AR, UK medes@arazygroup.com

適用可能な規格。

OrCam Read meets all applicable requirements of EU MDR 2017/745
and

FCC 警告

オーカム社が明示的に承認していない変更は、FCC 規制に基づいて機器を使用するユーザー権限を無効にする可能性があります。

注：製造元は、本機器に対する許可のない変更により引き起こされるラジオまたはテレビの干渉に対して責任を負いません。そのような変更は装置を使用するユーザーの権限を無効にすることができます。

EU の認定担当者：

Arazy Group GmbH

The Squire 12, Am Flughafen, 60549 Frankfurt am Main, Germany

電話番号: +49 69 95932-5090

認可されたスイスのコミュニティの担当者: Arazy Group Switzerland

GmbH Bruderholzallee 53 4059 Basel, Switzerland

電話番号: +41 335332267

2007/47/EEC and the essential requirements set out in Annex 1. EN
IEC 60601-1. EN IEC 60601-1-2. EN IEC 60601-1-6. EN IEC 60601-
1-11. ETSI EN 301 489-1. ETSI EN 301 489-17. FCC Part 15, Subpart

B. IEC 62366-1:2015. IEC 60825:2014. EN IEC 62304:2006. RoHS
Directive 2011/65/EU. WEEE. EN ISO 14971:2016. ISO 13485:2016.
ISO 20417 2021. EN ISO 15223-1:2016.



RoHS



廃電気電子機器
指令に準拠 適切
な廃棄について
は OrCam までお
問い合わせくださ
い。

有害物質規制指
令準拠(材料およ
び部品)

FCC ID:
2AAWI-READ

CE 準拠

取扱説明書お
よびマニユア
ルを参照